

| No      | 該当箇所 | 用語                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 施策 1  |      | 「いのちと心の教育」月間              | 調布市では、12月10日の世界人権デーに合わせて、毎年12月を調布市「いのちと心の教育」月間と定めている。いのちの大切さを伝える校長講話、道徳科等における「生命尊重」を扱った授業の実施等の取組を通じて、児童生徒が自他の生命を尊重する心情や他者との違いを理解し、互いに認め合うことについて考える機会としている。                                                                              |
| 2 施策 1  |      | 心のバリアフリー教育                | 学校において、障害の有無に関わらず、交流や共同学習の機会を設け、各教科やスポーツ、文化・芸術活動等を教育課程に位置づける等、障害者理解の一層の推進を図る教育のこと。                                                                                                                                                      |
| 3 施策 1  |      | 自尊感情測定尺度（東京都版）            | 児童生徒の自己評価により、自身が自己をどのように捉えているかを22の項目で把握する「自己評価シート」のこと。発達段階に応じて自尊感情の傾向を適切に把握するために実施する。                                                                                                                                                   |
| 4 施策 1  |      | 上級救命講習                    | 市内小・中学校の教員を対象に実施。普通救命講習の内容に加え、傷病者管理や外傷の応急手当、搬送法等の技能を学び、教員の災害対応能力の向上を図るために実施している。                                                                                                                                                        |
| 5 施策 1  |      | スクールカウンセラー                | 学校に配置している心理専門職。児童生徒の問題行動の背景になっている不安や悩みへのカウンセリング、保護者や教職員への助言・援助など、子どもの心の問題に関する様々な相談活動を職務としている。                                                                                                                                           |
| 6 施策 1  |      | 普通救命講習                    | 小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施している。心肺蘇生や自動体外式除細動器（AED）の使用方法等の技能を学び、自助・共助の力を身に付けることを目的としている。                                                                                                                                                     |
| 7 施策 2  |      | オリンピック・パラリンピック教育で培った5つの資質 | ①ボランティアマインド ②障害者理解 ③スポーツ志向 ④日本人としての自覚と誇り ⑤豊かな国際感覚                                                                                                                                                                                       |
| 8 施策 2  |      | 外国にルーツを持つ子ども              | 親の両方またはいずれか片方が外国出身者である子どものこと。                                                                                                                                                                                                           |
| 9 施策 2  |      | 外国語指導助手（ALT）              | ALT：Assistant Language Teacher の略。授業における担当教員の補助、チーム・ティーチング、教材作成補助、授業前後の打合せ、発音・表現の助言を行う役割をになっている。                                                                                                                                        |
| 10 施策 2 |      | 学校2020レガシー                | 都内全公立学校（園）において実施してきた「東京都オリンピック・パラリンピック教育で重点的に育成してきた5つの資質」の育成と関連付けて発展させてきた活動、又は本教育をきっかけに新しく始めた活動の中から、学校の特色としてこれからも継続させる活動のこと。                                                                                                            |
| 11 施策 2 |      | コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）    | 「学校運営協議会」を設置している学校のことを「コミュニティ・スクール」という。「学校運営協議会」は法律に基づき、教育委員会から任命された委員が、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のこと。学校・保護者・地域住民が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めることを目的としている。                                                               |
| 12 施策 2 |      | 生成AI                      | 文章、画像、プログラム等を生成できるAIモデルに基づくAIの総称                                                                                                                                                                                                        |
| 13 施策 2 |      | 地域学校協働本部                  | 地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと発展させていくことを目指していることが、「学校支援地域本部」などの従来の地域の学校支援の取組との違いである。 |
| 14 施策 2 |      | （学校図書館における）レファレンスサービス     | 学校図書館において、児童生徒が読書活動や学習活動で必要とする図書の調べ方の案内や参考図書を提供し、知りたい情報や情報源を探す支援をすること。                                                                                                                                                                  |
| 15 施策 2 |      | GIGAスクール構想                | 1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的とした国の構想                                                                                                                              |
| 16 施策 3 |      | ウェルビーイング（Wellbeing）       | 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。                                                                                                                                                                    |
| 17 施策 3 |      | 食育                        | 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの。                                                                                                                                  |
| 18 施策 4 |      | 教育支援センター                  | 心理的要因等により不登校状態又はその傾向にある児童生徒が社会的自立に向けて学ぶための教室                                                                                                                                                                                            |

|    |     |                           |                                                                                                                                                |
|----|-----|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 19 | 施策4 | 教育支援コーディネーター              | 不登校の児童生徒や子育てに不安のある保護者からの相談、養育困難な家庭などに対して、家庭訪問や関係諸機関との連携・調整を行うなど、子どもの立場に寄り添い問題解決への対応を図る学校教育に関する知識・経験が豊富な教員経験者のこと。                               |
| 20 | 施策4 | 合理的配慮                     | 障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮            |
| 21 | 施策4 | 個別指導計画                    | 個別の支援が必要な児童生徒一人一人に対して、適切な支援を行うことを目的とした個人の目標や指導方法等を短期的な視点から作成した計画書のこと。                                                                          |
| 22 | 施策4 | 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 | 児童生徒の問題行動等について、事態をより正確に把握し、これらの問題に対する指導の一層の充実を図るため、暴力行為、いじめ、不登校、自殺等の状況等について、毎年度、文部科学省が行っている調査のこと。                                              |
| 23 | 施策4 | 就学援助制度                    | 公立の小学校・中学校等に在籍する児童生徒の保護者を対象に、経済的な理由で子どもを就学させることが困難な場合、認定された方が給食費、学用品費、校外活動費、新入学準備金等の援助を受けることができる制度のこと。                                         |
| 24 | 施策4 | スクールサポーター                 | 通常の学級で特別な支援を要する児童生徒に対して、各校に応じた支援（取り出し授業や見守り等）を行う。市立小・中学校全校に配置している。                                                                             |
| 25 | 施策4 | スクールソーシャルワーカー             | 不登校の児童生徒や子育てに不安のある保護者からの相談、養育困難な家庭などに対して、家庭訪問や関係諸機関との連携・調整を行うなど、福祉的視点から、子どもの立場に寄り添い問題解決への対応を図る専門家のこと。                                          |
| 26 | 施策4 | はしうち教室                    | 平成30年4月に全国初の分教室型の不登校特例校として、第七中学校に開設した。不登校生徒を対象とした多様な学びの場を提供するとともに、その学びの場が、一人一人の生徒の状況を十分に把握し、充実した支援となるよう支援体制や支援内容を整備している。                       |
| 27 | 施策4 | 太陽の子                      | 調布市立小学校に在籍する4年生以上の児童が対象の教育支援センター                                                                                                               |
| 28 | 施策4 | テラコヤ・スイッチ                 | 不登校状態にある中学生を対象に、比較的年齢の近い大学生・大学院生が「お兄さん・お姉さん」的な役割で関わり、学習へのきっかけづくりや、少人数で楽しく過ごす時間を提供する取組のこと。生徒の居場所づくり、コミュニケーション能力の育成を目指す。東京学芸大学・松尾研究室に委託して実施している。 |
| 29 | 施策4 | 不登校児童生徒支援プロジェクト SWITCH    | 不登校児童生徒への支援の取組として、東京学芸大学・松尾研究室と連携して行っている事業。メンタルフレンドの派遣事業、不登校児童・生徒支援個別票への助言、テラコヤ・スイッチなどに取り組んでいる。                                                |
| 30 | 施策4 | ふれあい月間                    | 児童生徒のいじめ問題及び不登校問題について、学校が継続的かつ意識的に取組を推進するとともに、取組の工夫改善を図るため、東京都教育委員会が指定している重点月間（6月、11月、2月）のこと。                                                  |
| 31 | 施策4 | メンタルフレンド                  | 比較的年齢の近い大学生・大学院生を学校や家庭に派遣し、「お兄さん・お姉さん」的な役割で不登校状態にある児童・生徒をサポートすることにより、子どもの精神的な成長や回復を目指す取組。東京学芸大学・松尾研究室に委託して実施している。                              |
| 32 | 施策4 | ヤングケアラー                   | 家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者                                                                                                         |
| 33 | 施策4 | CANVAS                    | 調布市立中学校に在籍する生徒が対象の教育支援センター                                                                                                                     |

※用語欄で下線を引いているもの：次期教育プランから新たに追加した用語

※説明欄で下線を引いているもの：現行教育プランから内容の修正を行ったもの